

建都計第705号
平成27年6月25日

認定NPO法人ホテルのふるさと瀬上沢基金
理事長 角田 東一 様

横浜市長 林 文子



国交省第五次土地利用計画素案との整合性について（回答）

さきに陳情(平成27年6月8日)のありましたことについて、次のとおりお答えします。
国土交通省において改定作業が進められてきた第五次国土利用計画（全国計画）については、6月22日に原案が示されています。

その中では、重層的かつ強靱な「コンパクト＋ネットワーク」や「適切な国土管理を実現する土地利用」、「自然環境・美しい景観を保全・再生・活用する国土利用」、「安全・安心を実現する国土利用」、「複合的な施策の推進と国土の選択的な利用」、「多様な主体による国土の国民的経営」などの考え方を掲げ、地域の実情に応じた対応を進めるとしています。

これらの考え方は、本市の現状と課題を踏まえ、横浜型のコンパクトな市街地形成などを掲げて策定した整開保等及び線引きの第7回全市見直しに向けての横浜市の都市づくりの基本的考え方とも不整合はないと考えています。

ご指摘の栄区上郷猿田地区における都市計画提案については、自然的環境や里山景観を永続的に保全しつつ、提案地区の将来を見据えた魅力と利便性の向上に資するまちづくり計画であり、本市のまちづくりの方針に基本的に沿ったものであると考えております。

この旨ご理解いただき、貴団体の皆様によりしくお伝えください。

担当 建築局都市計画課
電話：045-671-2657
FAX：045-664-7707